

# 茶友会

JTSU-E 御茶ノ水駅分会  
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION - OGHANOMIZU

2021.5.14

No. 12



## コンプライアンスの観点から 早期の情報公開を!!

5月13日付の東京新聞において、水戸支社管内の勝田駅社員ら8名が新型コロナウイルス陽性となったにも関わらず、公表していなかった事象が報道されました。

また、駅内でPCR検査を実施した後、地元の病院ではなく、JR東京総合病院に検体を送付、結果が出るまでの間、社員を通常業務に就かせていた事態も発覚しました。その中には、陽性と判定された社員も含まれています。

会社は今回の事象がクラスターにあたるのかについて「判断するのは自治体」と責任を転嫁する姿勢を見せています。



東京新聞の  
当該記事は  
こちらから  
閲覧できます

### 社員には「速やかな報告」!! 社会には「隠蔽体質」??

私たち社員は、新型コロナウイルスに「感染しない」「感染させない」取り組みを愚直に取り組んできました。お客さまにも、感染防止対策をお願いしている状況は変わりません。しかし、変異株をはじめとしたウイルスの脅威は日に日に増しており、より一層の感染防止対策と情報開示が求められている状況です。

東京支社では、社員が新型コロナウイルスに感染しても、感染防止対策と自治体の判断があれば公表しないという姿勢を貫いています。しかし、いくら自治体が大丈夫と言っても、お客さまの不安をゼロにすることにはなりません。公表が無いから大丈夫とお客さまをだますようなことにつながっては、コンプライアンスの面からも大問題と言わざるを得ません。

会社は社員に対し「報告の3S」など速やかな報告を求めています。社会に対して「隠蔽体質」と取られるような対応では、地域に根差した企業活動など実現できません。社会から信頼される JR 東日本をつくるために、会社は今こそ「お客さまが/地域が、何を求めているのか」をしっかりと考え、行動すべきです。

**「消毒駅」など愚直な感染防止対策で積み上げてきた信頼を壊したくない!**  
**今こそ「社員と共に!」「お客さまと共に」「地域と共に!」**  
**会社は感染拡大防止に向けて全力を傾注すべきだ!**